



チェロ
ドミトリー・フェイギン
Dmitry Feygin Cello



ヴァイオリン
ステパン・ヤコーヴィッチ
Stepan Yakovich Violin



ピアノ
新見フェイギン浩子
Niimi Feygin Hiroko Piano

シューベルト 室内楽の夕べ

PIANOTRIO
ALL SCHUBERT PROGRAM

オールシューベルト・プログラム

ロンド D895-op70 (Vn,Pf)

アヴェマリア (ハイフェツ編)

アルペジヨーネソナタ (Vc,Pf)

シューベルト ピアノ三重奏 第1番

小金井市民交流センター 小ホール

2016年2月28日 日曜日

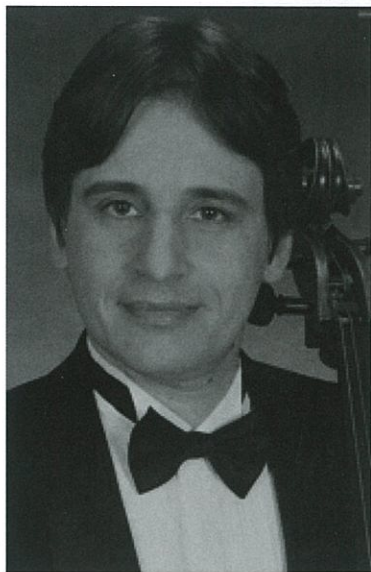
開場 19:00 開演 19:15 全席自由席 ¥2800

主催 コンサートラド
協賛 メトジカ
後援 在日ロシア大使館
ロシア連邦交流庁

お問い合わせ 090-8199-2320 070-5080-1732



ドミトリー・フェイギン チェロ



ロシア人チェリスト、ドミトリー・フェイギンは、有名なチェリストであった父、ヴァレンティン・フェイギンと、有名なチェロ教師であった母、ガリーナ・ズーヴァレヴァのもとに、モスクワに生まれる。その後、モスクワ音楽院中央付属音楽学校のもとで英才教育を受け、その後、モスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間、父にチェロを、室内楽をショスタコヴィッチ室内楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンなどに師事する。

モスクワ音楽院在学中、1991年にモスクワ院大ホールにて指揮者アレクサンドル・ヴェデルニコフ（現ポリショイ劇場常任）指揮により、チャイコフスキー作曲『ロココのテーマによる変奏曲』でデビューする。今までにショスタコヴィッチ室内楽コンクール、日本のヴィヴァ・チェロコンクールなど数々の賞を受賞。ショスタコヴィッチ室内楽コンクールではショスタコヴィッチ夫人から特別にソナタ賞を授与される。

1986年からロシア国内外で演奏活動をはじめ、NEW-VIKTRING フェスティバルや CARINTHISHER フェスティバル（奥）、カルマール・フェスティバル（仏、主催はロシア人ヴァイオリニスト、スピヴァコフ）、オレグ・カガン・フェスティバル（露、ナタリア・グッドマン主催）、モスクワ11月芸術祭などに出演する。1999年にはロシア人指揮者、イリヤ・ムーシンなどと共演する。最近では、小林研一郎を始め日本人で世界的な指揮者とも共演する。2013年には、世界的な指揮者広上淳一や、日本の有名なオーケストラと共演する。95年からはモスクワ・コンサート・フィルハーモニー協会のソリストを務め、モスクワ音楽院付属音楽学校で教える。

2003年来日、現在、東京音楽大学教授。06年からはモスクワフィルハーモニア協会主催による定期演奏会に、毎年、チェロとピアノ、デュオ室内楽のシリーズに新見フェイギン浩子（ピアノ）と連続出演する。日本とロシア中心にソロ室内楽で活動する。近年では、モスクワ 韓国 および日本において国際チェロコンクールの審査員も務める。

ステパン・ヤコーヴィッチ ヴァイオリン

ベラルーシのミンスクに生まれる。モスクワ音楽院にて、イリーナパチコーヴァに師事する。同大学院卒業。ロシア国内のコンクールで入賞する。その後、国内、外で演奏活動始める。ソリストとして、シュビレル、ポリャンスキーとの指揮者と共演する。ヴァイオリスト ユーリ ヴァシュメットとモーツァルトのシンフォニーコンチェルトを、日本、ドイツ、スペイン、イタリア及び中国で共演する。室内楽では、トレチャコフ、イストミン、ブルネッタ、クニャーゼフ、メルニコフ、などの著名な音楽家達と共演している。今迄に、フランスのトゥール音楽祭、ドイツのクロンベルグ、イタリアのエルバ、イギリスのバット音楽祭などに出演する。2005～2012までヴァシュメット率いるモスクワソロイスト室内楽オーケストラのコンサートマスターを務めた。現在、モスクワ音楽院で教員をとるかたわら、ソロ及び室内楽で演奏活動を続ける。



新見フェイギン浩子 ピアノ



大阪に生まれる。桐朋学園高等音楽学校に入学する。その後、ハンガリー・ブタペスト、リスト音楽院にてピアノを、ナードル・ジョルジュやゾルタン・コチシュなどに師事する。その後、1990年からモスクワ音楽院に研究生として入学。ピアノを、ドミトリー・パシキーロフ、セルゲイ・ドレンスキー、室内楽を、前モスクワ音楽院長であったディグラム・アリハノフ、ヴァレンティン・フェイギンなどに師事する。その間、旧レニングラードで開催されたショスタコヴィッチ室内楽コンクール（デュオで夫であるチェリストのドミトリー・フェイギンと）やソロではイタリアのヴィオッティ国際ピアノコンクールなどで賞を受賞する。

1990年から、主にロシア国内で演奏活動を始め、サンクト・ペテルブルクオーケストラ、ロストフオーケストラ他、サラトフ、マイコップなどのオーケストラと共演する。モスクワではチェリストのナタリア・グッドマン主催のオレグ・カガンフェスティバルや、モスクワ11月音楽祭、プーシキン美術館などのフェスティバルにて、1990年からドミトリー・フェイギンと共演する。

他、ピアノトリオ、ピアノ五重奏など、モスクワ・ソロイスト室内楽オーケストラのメンバーと共演する。2005年からモスクワ・コンツェルト・フィルハーモニー・ソサエティーにて演奏活動をする。

現在は、2006年からモスクワ国立フィルハーモニア協会主催の定期演奏会に連続出演する。2010年の3月に催された同シリーズ演奏会は、モスクワ国立フィルハーモニア協会の批評家たちから大変な好評を博した。2006年から2011までくらしき作陽大学音楽部で後進にもあたる。2015年4月から東京音楽大学付属高校講師。

現在、日本とロシアでおもに夫フェイギンと演奏活動を行う。



小金井 宮地楽器ホール (小金井市民交流センター)

電車：JR中央線「武蔵小金井駅」南口下車 徒歩1分

バス：小田急バス、関東バス、西武バス、

京王バス「武蔵小金井駅」下車 徒歩1分